

# 四之宮6月号 公民館だより

平塚市四之宮3-20-26

電話 55-0655

FAX 54-8255

ホームページは

地図は  
こちら→



平塚市立四之宮公民館

と検索

地域の情報は

四之宮ふれあい便り

と検索

シニア学級

## フレイルチェック測定会

いつまでも健康でいるために！楽しくフレイル予防を学ぶ講座です

■日時 令和6年7月23日（火曜日）14：00～16：00

■場所 公民館 2階集会室

■対象 四之宮地区在住の概ね65歳以上の方

■参加費 無料 ■募集人数 25人(先着順)

■申込み 55-0655 (四之宮公民館) (7月12日(金)まで)

■問合せ 平塚市保険年金課資格給付担当

電話：72-7266（直通）



## ♪ 子育てるんるん ♪

日時：6月17日(月)

10:00～11:30 公民館集会室

内容：七夕飾りを作ろう

今年も平塚市の七夕飾りコンクールに応募  
しますよ！短冊にお願い事やキラキラ飾りを  
作って、にぎやかに飾りましょう♪

※ 7月は15日(月)に開催します  
(内容予定：お菓子作り・すいか割り)



社会福祉協議会

## 移動ふれあいサロン

日時：6月22日(土) 10時～

場所：四之宮ふれあいセンター

※公民館ではないのでご注意

内容：オールドボーイズによる歌と演奏

※ 7月は15日(月)に開催します

(内容予定：歌唱・演奏・マジックショー)



公民館  
除草作業

皆様のご協力をお願いいたします

6/23(日) 9:00 (雨天中止)

『令和6年 大野地区

平和を感謝する集い』のお知らせ

開催期日：令和6年7月15日(月) 祝日(海の日)

10時 開式

開催場所：松が丘公民館2階集会室

内容：★式典(無宗教行事)

★作文朗読(中学校の生徒の皆さん)

本年度は通常式典として開催します。

主催：大野地区平和を感謝する集い実行委員会

当日は参加自由です。

皆さんお誘いあわせの上ご参加ください。

会員募集

明寿会 通いの場

初心者大歓迎

パソコン教室「銀河ITサークル」

授業日 毎月2回 第2・第4金曜日

午後7時より 午後8時30分まで(1時間30分)

入会金 2,000円 会費 月1,600円

場所 公民館 中会議室

明寿会会員でなくても大丈夫です

四之宮地区以外でも大歓迎

女性・男性を問いません(現在は女性の方が多いです)

連絡先 会長 戸谷 友義(090-2655-2162)迄

事務局 小島 征男(090-2462-6029)迄

公民館でも大丈夫です。(事前見学もできます)



公民館だより5月号記事 次のとおり訂正いたします

令和6年度公民館運営委員(敬称略)

松川成芳(体育振興会) → 相原奈津代(体育振興会)

# 四之宮地区福祉村からのお知らせ

6月の福祉村は、次のとおり実施します。どのサロンも楽しく、和気あいあい活動しています。お気軽にご参加下さい。お待ちしております。

開村日：毎週 月・火・水・土曜日（祝日は休村）

場所：公民館 いこい室

開村時間：AM 10:00～12:00 PM 1:00～3:00

TEL：55-0750

## 手芸

6/3・10・17・24  
いずれも(月)AM

## ゴム体操・コグニサイズ

6/12・19・26  
いずれも(水)PM

## 歌声サロン(三味線)

6/18(火)PM

## 小中学生への学習支援

6/1・8・15・22・29  
いずれも(土)AM

## 6月サロンのご紹介

## スカットボール

6/18(火)AM

## 臨床美術

6/26(水)AM

## 園芸クラブ

6/11・25  
いずれも(火)AM

## 吹矢体験

6/10・24  
いずれも(月)  
AM9:30～

## 囲碁ボール

6/12・19  
いずれも(水)AM

## お茶席をたしなむ会

6/3(月)PM  
7月は7/8(月)PM

### 四之宮まめ知識「四之宮 あれそればなし その18」 記事提供：四之宮郷土史同好会

#### 御林（おはやし）

昨年はNHKのどうする家康で平塚はフリーバーしました。徳川家康（1542～1616）が鷹狩りに使った御殿は中原にありました。

四之宮にもそれにまつわる伝説がいくつもあります。

その中の一つに、四之宮の砂丘に好影響をもたらした御林があります。

御林はもともと街道より御殿が見透されるのを防ぐのと風致を兼ね、御殿を中心に植林したものです。

後には、防風林、防砂林として十六ヶ村、127町歩（約125万6600㎡・総合公園の40倍に及び）広大なものでした。

四之宮は、この広大な御林の北東の位置になります。

砂丘の砂は西や南の方面から季節風によつて運ばれたので、四之宮の御林の砂防のおかげで多大な恩恵を受けました。現在は、家並みが御林に代わり砂防しています。

御林の樹木は、松・檜（ひのき）、樺（けやき）、落葉松（からまつ）、漆（うるし）等が植えられました。が、砂丘地帯であるために松が最も適していることがわかり、以後は松の育成に重点が置かれました。

御林の維持管理は中原代官と御林奉行の監督のもとに選任された御林守（おはやしもり）が八ヶ村の住民に手伝わせて行われました。

管理で特に重視したのは、火災と盗伐の防止で、樹木一本でも盗伐すれば死罪、倒木・枯木・枯枝を持ち帰った者は入牢という厳しいものでした。

御林の倒木が周辺の道をふさぎ、通行を妨けても勝手に取り除くことはできず、村の世話役か名主から文書で御林守に願い出て、その許可がなければ取り除けなかったそうです。

電気・ガス・石油のような燃料のない当時、燃料の主役の木材は、喉から手が出る程は少なかった時代で、とても厳しいものでした。

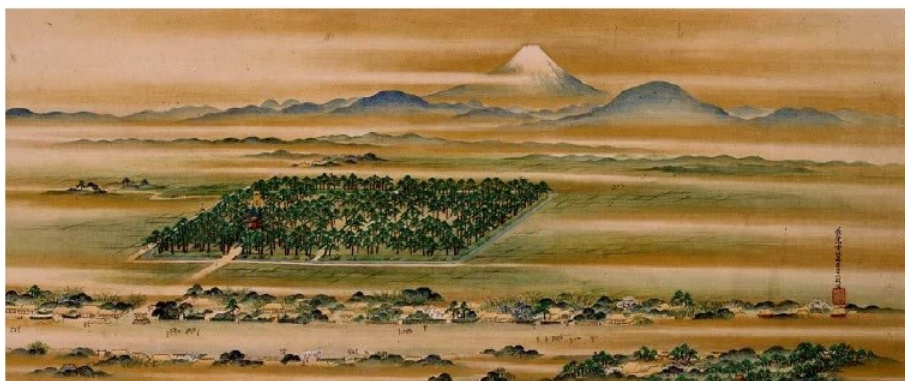
中原代官の所轄する牢は、中原上宿に所在し、広さ100㎡で陽も当たらない窪地で、牢屋建と呼ばれていました。

御林は土地改良には大変有益でした。当時の燃料の主役のまきの入手や、広大な耕作地を幕府直轄領として召し上げられた人々の苦難は大変なものでした。

さらに付近の山は、お止め山と称して立ち入りを許されず、そのため川の洪水時には危険を冒して先を争って流木を拾い、

洪水時には子供まで川原で雑木を拾うなど庶民の生活は困窮していました。

※参考資料：平塚史誌



中原御殿

長谷川雪堤（せつてい）

四之宮郷土史

同好会

ホームページ

二五九パーコードです。

